

交通安全教育

まず止まって！ 右を見て、左を見て！ 安全に道路を渡りましょう！

子どもに起こる交通事故の中で、最も多く発生しているのが、無断横断による事故です。乳幼児期は好奇心が旺盛な時期であり、周囲を見回したり、探索したりすることを楽しみます。また、活発に動こうとする発達上の特徴から、瞬間的に移動する距離が非常に長くなるため、保護者の方は常に注意を払う必要があります。特に、乳幼児は体格が比較的小さいため、自動車と衝突した場合、単なる事故ではなく、命に直結する危険につながることから、交通安全教育は非常に重要であるといえます。歩行中に守るべき原則と注意すべき点についてご案内いたしますので、安全な生活習慣を身につけられるよう、ご指導をお願いいたします。

<横断歩道の5つの約束>

① まず、止まる



② 左・右から来る車を確認する



③ 右手をあげる



④ 車が止まったことを確認する



⑤ 車を見ながら歩く



道を渡る時は注意しよう!



- 無断横断は絶対に禁止
- ふざけたり、走ったりしない
- スマートフォンを見ながら歩かな
- 曇りの日や暗い夜には、明るい色の服を着る
- 保護者の手をしっかり握って歩く

車両利用時は必ず守って!

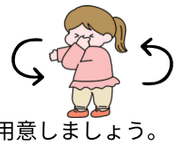
- 車に乗るときは、必ずチャイルドシートを使用するか、シートベルトを着用する
- 車で移動中は、窓の外に頭や手を出さない
- 運転の妨げになる行動をしない
- 車から降りるときは、必ず左右を確認する
- 車から降りるときは、服やかばんがドアに挟まらないように注意する



遊びで学ぼう!

子どもは、車がどのように動き、どのように止まるのかについて、よく理解していません。多くの場合、手を挙げて道路を渡れば、車はすぐに止まってくれると思っています。そのため、幼児が車が止まるためには、必ず時間と距離が必要であることを理解できるよう、以下の遊びを一緒に行いながら、車について改めて考える機会を設けていただけるよう、ご指導をお願いいたします。

お子様と一緒に楽しむ



● 遊び方法
① お子さまの好きな楽しい音楽を用意しましょう。
② 鼻を手でつまんで、ぞうさんの鼻のようにして10回回ります。「ぐるぐる～！」
③ "ストップ!" の合図があったら、すぐに止まります。

● お子さまに質問してみましょう。
『ストップ！』と言われたとき、すぐに止まれたかな？」

はい ☐　　いいえ ☑

国民安全教育プラットフォーム

ご家庭での指導が難しい場合は、お近くの交通安全体験館で、交通安全教育に関する支援を受けることができます。

安全教育統合資料（対象別／分野別）

安全体験館の現況（地域別／対象別）

※ 出所：道路交通公団、消防防災庁